

## 平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月14日

上場会社名 株式会社東京スタイル

コード番号 8112 URL <http://www.tokyostyle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島芳樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営統轄本部

(氏名) 門田 潔

TEL 03-3262-8111

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	39,247	—	415	—	2,592	—	1,110	—
21年2月期第3四半期	46,876	9.2	2,039	△13.1	454	△86.4	△1,484	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	12.60	—
21年2月期第3四半期	△16.85	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	157,965	142,903	89.3	1,600.30
21年2月期	154,303	137,036	87.6	1,533.60

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 141,003百万円 21年2月期 135,137百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	17.50	17.50
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	17.50	17.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,500	△16.2	500	△81.2	3,500	463.6	1,000	—	11.35

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	102,507,668株	21年2月期	102,507,668株
② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	14,397,074株	21年2月期	14,389,965株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	88,112,989株	21年2月期第3四半期	88,129,438株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年秋から続く景気低迷の影響により、失業率の増大や個人所得の減少から消費マインドが冷え込み、当アパレル業界をとりまく営業環境は、大変厳しいものとなりました。

こうした状況のなか、当社グループは、高野前社長の急逝に伴う新役員体制のもと、経営の最重点方針である『商品本位主義』を追求し、お買い上げいただいたお客様にご満足いただける真に価値ある商品の開発に取り組むとともに、時代の変化を的確に捉え、将来を見据えた新しい発想と視点による戦略を強化してまいりました。

具体的には、他に例のない吸湿発熱効果のある「ボディキュア」、ロングランヒットとして定評のある「ニューズニュー」やその軽量版の「ニューズニューライト」など、ブランド横断型のオリジナル素材や機能素材を使った商品を積極的に展開し、高品質で付加価値の高い商品を、よりリーズナブルな価格で提供してまいりました。

また、新規販路を開拓すべく、都市型・近郊型ショッピングセンター向けの新ブランドの開発を進めるとともに、近年成長著しい「テレビ通販」や「インターネット販売」にも取り組んでおります。このほか、米国ニューヨークを拠点としたコンテンポラリー・カジュアルブランドや中国のSPA型企业などとの提携交渉など、将来のさらなる成長に向けた事業基盤の拡大に注力しております。

グループ運営につきましては、セレクトショップを運営する株式会社ナノ・ユニバース、米国ストリート系ブランド「ステューシー」を扱う株式会社ジャック、そしてトレンド・メンズカジュアルを主体とする株式会社スピックインターナショナルに続いて、今年度は、デザイナー板倉慶二氏の運営する株式会社イジットを子会社化し、10月にはセレクトショップ感覚のオリジナルブランド編集ショップ(店名「ダイアリー」)の第1号店を渋谷に出店しました。

このような経営施策に取り組んでまいりましたが、市況全般の低迷は如何ともしがたく、当第3四半期連結累計期間の売上高は392億47百万円(前年同四半期比16.3%減)、営業利益は4億15百万円(前年同四半期比79.6%減)と不本意な結果となりました。しかしながら、株式市場の回復により有価証券評価益等を計上したことから、経常利益は25億92百万円(前年同四半期比469.9%増)、四半期純利益は11億10百万円(前年同四半期は14億84百万円の損失)となりました。

なお、当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しているため、文中の前年同期の金額は参考として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 連結財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ36億62百万円増加し、1,579億65百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ22億6百万円減少し、150億61百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ58億67百万円増加し1,429億3百万円となり、自己資本比率は89.3%となりました。

## (2) 当第3四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、20億85百万円の税金等調整前四半期純利益を計上しましたが、仕入債務が9億20百万円減少したほか、有価証券評価益が4億19百万円含まれていること等により13億88百万円の収入となりました。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券および投資有価証券の償還による収入が104億38百万円ありましたが、有価証券を99億75百万円取得したため、3億76百万円の収入となりました。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払15億42百万円を主因に、19億55百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ1億83百万円減少し、199億52百万円となりました。

なお、上記の現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高には、預入期間が3ヵ月を超える定期預金が除かれております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、長引く景気低迷の影響により、個人消費が冷え込み、今後も急激な回復が見込めないため、平成21年4月17日に発表いたしました平成22年2月期通期の業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等ならびに繰延税金資産の回収可能性の判断

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降の経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

なお、これによる損益へ与える影響はありません。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,008	22,365
受取手形及び売掛金	8,491	8,462
有価証券	13,252	7,839
たな卸資産	6,666	7,814
繰延税金資産	2,654	2,752
その他	1,442	1,629
貸倒引当金	△74	△74
流動資産合計	53,441	50,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,045	3,237
機械装置及び運搬具（純額）	359	390
土地	8,993	8,993
その他（純額）	405	431
有形固定資産合計	12,804	13,053
無形固定資産		
	828	855
投資その他の資産		
投資有価証券	72,401	70,165
長期貸付金	312	238
繰延税金資産	6,178	6,780
その他	12,206	12,628
貸倒引当金	△207	△208
投資その他の資産合計	90,890	89,604
固定資産合計	104,523	103,513
資産合計	157,965	154,303

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,788	7,709
短期借入金	50	143
未払法人税等	473	632
未払消費税等	62	144
賞与引当金	206	131
返品調整引当金	848	927
その他	2,140	2,492
流動負債合計	10,570	12,182
固定負債		
長期借入金	2,015	2,328
退職給付引当金	1,429	1,477
役員退職慰労引当金	634	840
繰延税金負債	92	92
その他	320	346
固定負債合計	4,491	5,085
負債合計	15,061	17,267
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,734	26,734
資本剰余金	44,934	44,935
利益剰余金	85,784	86,216
自己株式	△16,659	△16,655
株主資本合計	140,794	141,230
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	295	△6,095
為替換算調整勘定	△86	2
評価・換算差額等合計	208	△6,093
少数株主持分	1,900	1,899
純資産合計	142,903	137,036
負債純資産合計	157,965	154,303

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	39,247
売上原価	20,153
売上総利益	19,093
販売費及び一般管理費	18,678
営業利益	415
営業外収益	
受取利息	1,164
有価証券評価益	419
その他	818
営業外収益合計	2,402
営業外費用	
支払利息	28
その他	196
営業外費用合計	225
経常利益	2,592
特別利益	
役員退職慰労引当金戻入額	202
保険解約返戻金	134
その他	130
特別利益合計	467
特別損失	
賃貸借契約解約損	385
役員退職慰労金	193
その他	395
特別損失合計	974
税金等調整前四半期純利益	2,085
法人税、住民税及び事業税	733
法人税等調整額	146
法人税等合計	879
少数株主利益	95
四半期純利益	1,110

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,085
減価償却費	728
のれん償却額	120
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△254
賞与引当金の増減額 (△は減少)	74
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△78
受取利息及び受取配当金	△1,443
支払利息	28
為替差損益 (△は益)	△7
有価証券売却損益 (△は益)	△2
有価証券評価損益 (△は益)	△419
持分法による投資損益 (△は益)	1
有形固定資産売却損益 (△は益)	17
たな卸資産評価損	152
売上債権の増減額 (△は増加)	△28
たな卸資産の増減額 (△は増加)	995
未収入金の増減額 (△は増加)	421
その他の資産の増減額 (△は増加)	△186
仕入債務の増減額 (△は減少)	△920
未払金の増減額 (△は減少)	△134
その他の負債の増減額 (△は減少)	△424
その他	37
小計	762
利息及び配当金の受取額	1,443
利息の支払額	△28
法人税等の支払額	△788
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,388



(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自平成21年3月1日  
 至平成21年11月30日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△33
定期預金の払戻による収入	1,206
有価証券の取得による支出	△9,975
有価証券の売却による収入	5,183
有形固定資産の取得による支出	△571
有形固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による支出	△810
投資有価証券の売却による収入	5,255
子会社株式の取得による支出	△330
貸付けによる支出	△90
貸付金の回収による収入	13
その他の支出	△2,086
その他の収入	2,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	376
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100
短期借入金の返済による支出	△193
長期借入金の返済による支出	△313
自己株式の取得による支出	△5
配当金の支払額	△1,542
少数株主への配当金の支払額	△1
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△183
現金及び現金同等物の期首残高	20,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,952

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)
	金 額(百万円)
I 売上高	46,876
II 売上原価	24,273
売上総利益	22,603
III 販売費及び一般管理費	20,564
営業利益	2,039
IV 営業外収益	2,831
V 営業外費用	4,416
経常利益	454
VI 特別利益	61
VII 特別損失	1,318
税金等調整前四半期純損失	802
法人税、住民税及び事業税	531
法人税等調整額	△110
少数株主利益	261
四半期純損失	1,484